

東京都の精神科病院の長期在院について

5 長期在院患者数（各年6月末）

（単位：人）

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
在院患者数	20,710	20,571	20,101	20,142	19,927
1年以上 在院患者数	11,970	11,760	11,254	11,148	10,937
割合	57.8%	57.2%	56.0%	55.4%	54.9%
（参考）全国	65.6%	65.2%	64.5%	64.3%	- ※

（東京都数値：平成23～25年度 精神保健福祉資料・厚生労働省、平成26及び27年度 東京都調べ）
 ※平成27年度全国分は厚生労働省が集計中

東京都ホームページ

東京都障害者施策推進
協議会資料より
一部抜粋

5 長期在院患者数（各年6月末）

（単位：人）

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
在院患者数	19,927	19,717	19,487	19,600	19,129
1年以上 在院患者数	10,937	10,656	10,231	9,971	10,240
割合	54.9%	54.0%	52.5%	52.4%	53.5%
（参考）全国	63.5%	62.5%	61.4%	61.1%	61.0%

（東京都数値：平成27年、29年 東京都調べ、平成28年、平成30年～令和元年 精神保健福祉資料・厚生労働省）

精神障害者地域移行体制整備支援事業とは

【目的】精神科病院に入院している精神障害者が、円滑に地域移行を図るための体制及び安定した地域生活を送るための体制を整備するとともに、精神科医療機関と地域との相互理解及び連携強化の推進を図る。

【事業内容】

(1) 精神障害者地域移行促進事業(社会福祉法人等に委託)

(ア) 地域移行・地域定着促進事業(6事業所に委託)

地域移行コーディネーターをエリア担当として配置し、指定一般事業所等のサポート及び地域生活に関する体制づくり支援などにより、精神障害者の地域移行・地域定着を促進する。

(イ) ピアサポーター活用アドバイザー事業(別途2事業所に委託)

ピアサポーターの活用促進のため、精神科病院に対し、スタッフへの普及啓発、活動に係る助言や相談等の支援を行う。(令和3年度新規)

(2) グループホーム活用型ショートステイ事業(社会福祉法人等に委託)

精神障害者グループホームに併設した専用居室等を使用して、地域生活のイメージ作りや退院後の病状悪化防止のためのショートステイを実施する。

(3) 地域生活移行支援会議

保健・医療・福祉の関係者により、本事業に係る活動の報告や評価を行うとともに、地域包括ケアシステムを見据えた効果的な支援体制構築に向けた協議を行う。

令和3年度の精神障害者地域移行体制整備支援事業 【新規】ピアサポーター活用アドバイザー事業の取組内容と期待する効果等について

【取組内容】

- ・ピアサポート活動に関する紹介等、病院のスタッフへの普及啓発
- ・精神科病院がピアサポート活動をすすめるにあたり、方法や活動内容に係る助言、相談
- ・地域のピアサポート活動について情報収集し、必要に応じて情報提供
- ・その他精神科病院等がピアサポーターの活用を進めるための体制整備、支援

地域移行・定着が促進

R3年から
活動開始します！

ピアサポーター
活用アドバイザー

連携・協力

ピアサポーター

地域移行
コーディネーター

連携・協力

・ピアサポーターの活用の推進に向けた体制整備



病院

病院

地域移行・定着への
病院内の理解が促進する

病院内でのピアサポート活動が活性化する

- ・ピアサポーターの活動を通じて多様な生活のロールモデルも知る。
- ・誰もが地域で生活できることを理解する。

行政・地域

自分の街の長期入院者数や 社会資源の数ってどうなっているんだろう？



- 数年前からReMHRAD(リムラッド)というものが公開されたり、様々な情報公開が始まっています。
- それは精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指す際に基礎情報がわからない、といった声も多く出たからでもあります。
ぜひご活用ください♪
<https://remhrad.jp/>
- スマホやタブレットをお持ちの方は、実際に少し触ってみてください♪

区市町村で取り組んでいること例

- 施設入所者数は利用人数を把握している。
- 精神科病院の入院者数はリムラッドを活用するなどして傾向等を把握している。
 - 区市町村によっては、独自に病院に対して調査を行って、入院者数や、状態の把握に努めるよう、取り組んでいる。
- 把握した状況を区市町村の自立支援協議会等で共有
- 障害福祉計画に反映